しまねの土地改良だより

2026年（令和8年）1月1日発行（Vol.157）　水土里ネット島根会報

新年のご挨拶

全国土地改良事業団体連合会　会長　二階　俊博

令和８年の年頭に当たり、全国の土地改良事業に携わっておられる皆様に謹んで新年の御挨拶を申し上げます。

平素より、農業農村整備事業の推進に対し、関係各位の格別の御理解と御支援を賜っておりますことに、心より厚く御礼申し上げます。

昨年は、全国各地で記録的な猛暑や集中豪雨など、気候変動の影響が一段と顕著となり、皆様の地域にも大きな影響を及ぼしたのではないかと存じます。

豪雨等により被害を受けられた地域の皆様に対しまして、心からお見舞いを申し上げるとともに、一日も早い復旧・復興を祈念いたします。

いま、国際社会は、地球規模で頻発する異常気象や世界的な物価高騰などの諸問題に直面しています。一方、我が国の農業・農村は、農業者の高齢化や減少により、農業の継続やそれを支える農地や農業用水の保全管理が困難になるなどの課題を抱えるなど、農業・農村を取り巻く環境は大きく変化しています。これらの様々な問題の解決のために、食料・農業・農村基本法や土地改良法の改正が行われ、そして、新たに策定された土地改良長期計画に基づき、令和７年度から11年度までの５年間で農業の構造転換を集中的に進めることとなりました。

競争力のある農業を支える「大区画ほ場整備」や「スマート農業に対応した基盤整備」、また、「中山間地域におけるきめ細かな整備」をスピード感を持って進めていかなければなりません。

本年の干支は「午」でありますが、“前進”“飛躍”の年とされています。まさに地域農業が新たな局面へ踏み出す一年となりますことを願うところであります。

令和８年度農業農村整備事業関係予算 政府原案においては、農業構造改革を集中的に進めるため、4,504億円が計上され、令和７年度補正予算を加えると6,942億円となります。皆様の熱意ある要請活動と農林水産省をはじめとする関係各位の御尽力に厚く御礼を申し上げます。

輝かしい年の初めに当たり、本年も皆様の地域の農業・農村が活力を得て、一層発展するよう御期待申し上げますとともに、様々な不安が払拭され、本年が全国の皆様にとって良き年であり、日々健やかにお過ごしになられますよう御祈念申し上げ、新年の御挨拶といたします。

■ 新年のご挨拶　全国土地改良事業団体連合会 二階俊博会長 1
■ 新年のご挨拶　進藤金日子参議院議員 2
■ 農業農村整備の集い開催 3
■ 令和7年度多面活動ステップアップ研修（中国四国ブロック） 3
■ 令和7年度しまね水土里ネット男女共同参加推進大会開催 4
■ １月の主な予定 4

新年のご挨拶

全国水土里ネット会長会議顧問／参議院議員　進藤　金日子

あけましておめでとうございます。島根県土地改良事業団体連合会の会員並びに関係の皆様には、私の政治活動にご理解とご支援を頂戴し、厚く感謝申し上げます。本年も現場主義、地域主義に徹し、農業農村の振興に努めてまいりますので、よろしくご指導をお願い致します。

さて、昨年は、農政、国土強靱化、我が国経済にとって節目の年であったと考えています。土地改良法改正、食料・農業・農村基本計画の策定、農業構造転換集中対策の開始、新たな土地改良長期計画と第一次国土強靱化実施中期計画も策定されました。10月に高市早苗内閣が発足し、日本経済強靱化計画（通称サナエノミクス）が提唱され、我が国の経済転換の期待も広がっています。

３月の土地改良法の改正では、農業生産の基盤の整備に加えて保全に必要な施策を講ずることが明定され、土地改良区が市町村等と連携していわゆる水土里ビジョンを作成し、土地改良施設及び末端施設の保全を行う仕組みを位置付けました。

４月に策定された食料・農業・農村基本計画では、令和７年度からの５年間で農業の構造転換を集中的に進めることとし、「農地・水の確保」、「地域計画に基づく担い手への農地集積・集約化」、「農地の大区画化」等に関し具体策を位置付け、また、「食料システム全体で合理的な費用を考慮した価格形成を推進」することも位置付けました。自民党は、基本計画の実施に関して別枠予算の確保を求め、私はこれらの事業規模の積算を託され、実務的に2.5兆円の積み上げを行いました。

９月には新たな土地改良長期計画が策定され、「基盤整備による生産コストの低減」、「農業水利施設の戦略的な保全管理による持続的な機能確保」、「激甚化・頻発化する災害に対応した防災・減災対策」等に関する５つの目標を設定しました。

６月には第一次国土強靱化実施中期計画が策定され、令和８年度から令和12年度に推進が特に必要となる施策目標を設定、５年間の事業規模を「おおむね20兆円強程度」を目途としました。土地改良では、防災重点農業用ため池の防災・減災対策、農業水利施設等の老朽化・耐震化対策などを進めることとしています。

11月には、総合経済対策が閣議決定され、食料安全保障の確立、防災･減災･国土強靱化等を推進していく上で必要な対策と予算が盛り込まれ、土地改良関係では2,439億円が措置されました。

これらの政策を進めるためには土地改良の推進が重要です。特に農業構造転換集中対策期間の5年間では別枠予算も確保して強力に進めていく必要があります。令和８年度に執行可能な土地改良予算は、令和７年度補正2,439億円と令和８年度概算決定4,504億円の合計6,942億円(昨年比442億円増)となっています。予算のスムーズな執行に対する貴連合会による技術支援とご協力をお願いいたします。私は本年も土地改良の推進のため努力してまいりますので、皆様方からの益々のご指導、ご支援をお願いし、新年のご挨拶と致します。

農業農村整備の集い開催

― 農を守り、地方を創る予算の確保に向けて ―

祝辞を述べる鈴木農林水産大臣

県選出国会議員への要望活動

11月26日（水）、東京都千代田区の砂防会館別館「シェーンバッハ・サボー」において全国土地改良事業団体連合会主催による『農業農村整備の集い－農を守り、地方を創る予算の確保に向けて－』が開催されました。全国から農業農村整備事業関係者及び国会議員が約1100名参集し、本県からは田中武夫副会長（安来市長）ほか16名が参加しました。

はじめに、全国水土里ネット二階俊博会長から「食料安全保障を確立するためには、農業の構造転換を集中的に進めることが重要であり、予算を確保するため関係機関が一丸となって闘い続けてまいりたい。」と闘う土地改良のスローガンを掲げた力強い挨拶がありました。

続く祝辞では、鈴木憲和農林水産大臣が「農業の構造転換や国土強靭化をより一層進めるために、補正予算の確保や、別枠予算を含めたさらなる予算増額へ全力で取り組んでいく。」と述べられました。この他にも、城内実日本成長戦略担当大臣、森山裕自民党食料安全保障強化本部長、宮下一郎自民党総合農林政策調査会長、進藤金日子全国水土里ネット会長会議 顧問より祝辞が述べられました。

続いて、来年の全国土地改良大会を開催する水土里ネット奈良の菅谷義寛常務理事が要請案を読み上げ、全会一致で採択されました。

最後にはガンバロウ三唱を水土里ネット奈良の女性理事・職員による発声で力強く唱和し、集いの一切を終了しました。

終了後は本県からの参加者で県選出国会議員に対して、予算確保に向けた要望活動を行い、要望書が手渡されました。

令和７年度多面活動ステップアップ研修（中国四国ブロック）

12月16日（火）～17日（水）、全国農村振興技術連盟主催で「令和７年度多面活動ステップアップ研修（中国四国ブロック）」が松江テルサで開催され、中国四国各県の多面的機能支払い活動組織等45名（本県から15組織17名など21名）が参加しました。本研修は、これまで農村振興リーダー研修として開催されていましたが、後継者不足が喫緊の課題となるなかリーダーに限らず担い手等の幅広い参加を求めようと今年度改名し開催されたものです。

研修では、同連盟奥田委員長の主催者挨拶の後、中国四国農政局担当者からの多面的機能支払交付金制度の説明、鳥取県内の活動組織から優良事例報告がありました。その後は、６班に分かれ、２日目にかけて演習を行うなどオリエンテーションが実施されました。

この研修をとおして、「地域をチームに」という思考で取組むことの重要性を学ぶことができました。

令和７年度しまね水土里ネット男女共同参画推進大会開催

目録を手渡す佐々木会長

12月16日（火）、くにびきメッセ多目的ホールにおいて昨年度に続き「令和７年度しまね水土里ネット男女共同参画推進大会」がしまね水土里女性の会主催で開催され、県内から会員及び土地改良区役職員等約190名の参加がありました。

開会にあたり、しまね水土里女性の会佐々木精美（江津市土地改良区）会長の主催者挨拶に続き、島根県土地改良事業団体連合会田中武夫（安来市長）副会長からの祝辞、進藤金日子参議院議員からのビデオメッセージが披露されました。

また、研修に先立ち、しまね水土里女性の会が田んぼのオーナーとして収穫した棚田米の贈呈式が行われました。スクリーンには、田植え、稲刈り、ヨズクハデづくり、しめ縄作りの様子が映し出され一連の活動が紹介された後、佐々木会長から特定非営利活動法人フードバンクしまね門脇副理事長へ目録（米５袋）が手渡されました。その後は、島根県人権啓発推進センター講師による「今どきのハラスメント」についての講義、全国土地改良事業団体連合会室本専務理事による「土地改良と男女共同参画の推進」と題しての特別講演が行われました。続いて、行われた今回の井戸端会議は農業女子生き生き対談として「農のある暮らしを楽しく！！」をテーマに、豊田県土連理事（県立大学教授）進行のもと様々な形で農業に携わり県内で活躍されている４名の農業女子からそれぞれの体験や現状について率直な意見が出され有意義な対談となりました。

謹んで新年のご挨拶を申し上げます

会　長　楫野弘和	理　事　飯塚俊之	理　事　豊田知世
副会長　田中武夫	理　事　嘉戸　隆	理　事　中尾祥子
専務理事　渡部明孝	理　事　岩本一巳	代表監事　山本浩章
常務理事　高橋裕司	理　事　池田高世偉	監　事　田中　修
理　事　塚原隆昭	理　事　能海広明	監　事　福田克則

島根県土地改良事業団体連合会　ほか職員一同

１月の主な予定

開催日	行　事　等	開催地
1月27日（火）	県土連第３回役員会	県土連

水土里ネット島根　（島根県土地改良事業団体連合会）
〒690-0876　島根県松江市黒田町432-1　島根県土地改良会館　TEL 0852-32-4141
ホームページhttps://www.shimanedoren.or.jp/　メールsmndoren@shimanedoren.or.jp